

えがお

平成十九年七月七日発行



幼児部の友だちの作品

ホームページ
www.hoshuko.org

きょうのおやすみ だあれ

後藤れい子

きょうのおやすみ だあれ

おちびの ちいちゃん おしゃべりさん

あかいいすが ひとつ ぽっかり あいてる

しずかで いいね

でも さびしいね

きょうのおやすみ だあれ

のっぽの たっちゃん おこりんぼくん

あかいいすが ひとつ ぽっかり あいてる

のんびり するね

でも さびしいね



幼児部の友だちの作品

出展 「教室で読みたい詩 十二か月」 民衆社

今年(ことし)はどんな夏休みかな?

「あれ、 ちゃんは日本のおばあちゃんのところに行っただっけ。」 くんはサマーキャンプだったね。」 六月の終わ

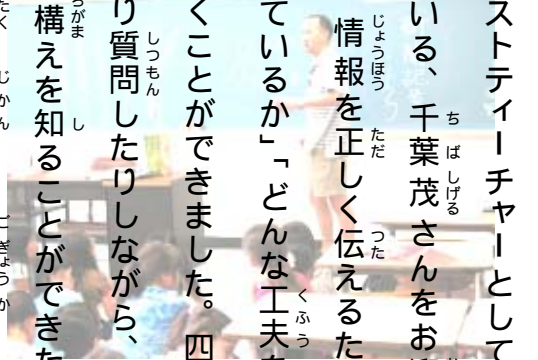
り頃から、補習校をお休みする友だちが増えてきました。そんな中、がんばって勉強してきたみなさん、来週から補習校も夏休みです。

また、ニュージャージーから引越(ひ)しをすることが決ま(き)って、この夏休みを期(き)に補習校を退学(たいがく)する友だちがいます。四月(しがつ)に一緒(いっしょ)のクラスになってやっと仲良(なかよ)くなれたのに、お別(わか)れするのはとてもさびしいですね。補習校でのがんばりや思い出(おもいで)を糧(かて)にして、新(あた)り場所(ばしょ)でもいろいろなことに挑(ちか)戦(せん)してほしいと思います。

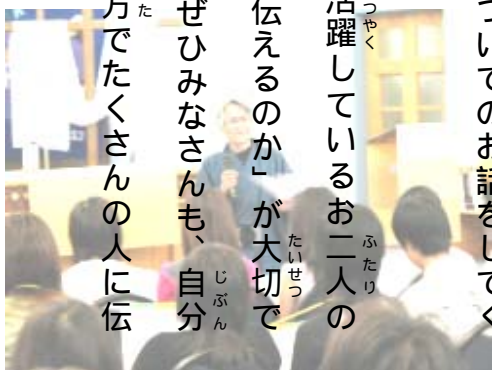
さて、「夏休み中は補習校の友だちとも会(あ)うことがないから、ほとんど日本語(にっぽんご)を使(つか)わなくなってしまっよ。」という友だちもいるようです。言葉(ことば)は使(つか)わなければすぐ忘(わす)れてしまうものです。日記(にっき)を日本語(にっぽんご)で書(か)いたり、親戚(せせき)や友だち(とも)に手紙(てがみ)を書(か)いたりしてみましょう。たった一度(いちど)しかない今年の夏(なつ)の、思い出(おもいで)の記録(きこく)になることでしょう。八月二十五日(はちがつにじゅうごにち)に、どんな夏休み(なつやすみ)だったか教(おし)えてくださいね。

ゲストティーチャー来校！

六月十六日、初等部四年生は国語「新聞記者になろう」



のゲストティーチャーとして、メディア関係の仕事をされている、千葉茂さんをお迎えしました。千葉さんからは、情報を正しく伝えるためにどのようなことに気を付けているか、「どんな工夫をしているか」などのお話を聞くことができました。四年生の友だちは、メモを取ったり質問したりしながら、現場の大変さや記者としての心構えを知ることができたようです。また、高等部では選択の時間に「五行歌」の創始者である草壁焰太さんをお迎えしました。草壁さんは、六月三十日にも来校してくださり、初等部や中等部の友だちにも思ったことを素直に表現する「五行歌」についてのお話をしてくださいました。



情報や表現の分野の最前線で活躍しているお二人の話に共通していることは、「何を伝えるのか」が大切であるということだと感じました。ぜひみなさんも、自分の考えや思いを好きな表現の仕方であくさんの人に伝えていきましょう！



みんなの作文



今週は、中等部一年生の作品です。

マータイさんと植樹

二〇〇四年ノーベル平和賞を受賞したケニアの環境活動家ワンガリ・マータイさんが六月二十九日、酸性雨や松くい虫の被害で樹木の立ち枯れが進む秋田市下浜海岸で植樹活動に参加した。

僕はこの記事を読んで「ホッと」した気持ちになった。自然を大切にするためにケニアから日本の秋田まで来たマータイさん。そして、一緒に植樹をした地元の小中学生やボランティアの人たち。自然を大切に思うみんながいて、「ホッと」した。

春につくった俳句から

庭の木にあたたかい春さいていた
しゃぼん玉いやな気持ちが消えていく